

フード・イノベーション 厳選株式ファンド

【愛称：世界の食卓】

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：フード

2023年8月11日から2024年2月13日まで

第 8 期 決算日：2024年2月13日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、新興国、日本を含む世界の取引所に上場している株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額(期末)	13,327円
純資産総額(期末)	15,959百万円
騰落率(当期)	+0.1%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年8月11日から2024年2月13日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	13,320円
期末	13,327円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+0.1% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2023年8月11日から2024年2月13日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、新興国、日本を含む世界の取引所に上場している株式(不動産投資信託(R E I T)を含みます。)に投資しました。マザーファンドにおける主な変動要因は、以下の通りです。

上昇要因

- 会員制倉庫型店舗のコストコホールセールが、好調な個人消費を背景に市場予想を上回る決算や特別配当を発表して株価が上昇したこと
- スーパーマーケットを展開するスプラウツ・ファーマーズ・マーケットが、堅調な個人消費に言及したことで株価が上昇したこと
- メキシコ料理レストランチェーンのチポトレ・メキシカン・グリルが、市場予想を上回る好調な決算発表で株価が上昇したこと

下落要因

- 穀物メジャーのアーチャー・ダニエルズ・ミッドランドが、ニュートリション(食物栄養)部門の会計慣行について当局からの調査を受け、株価が下落したこと
- フードデリバリーなどを手掛ける美团が、競争環境の激化や中国経済の先行き懸念などにより株価が下落したこと
- 化学工業および製薬会社のバイエルが、同社の除草剤製品に対する訴訟問題や新薬開発の中止などを受けて株価が下落したこと

1万口当たりの費用明細(2023年8月11日から2024年2月13日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	121円	0.950%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は12,713円です。
(投信会社)	(65)	(0.511)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(54)	(0.421)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.013	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.013)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	2	0.014	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.014)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	4	0.028	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(3)	(0.022)	
(監査費用)	(1)	(0.005)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	128	1.004	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

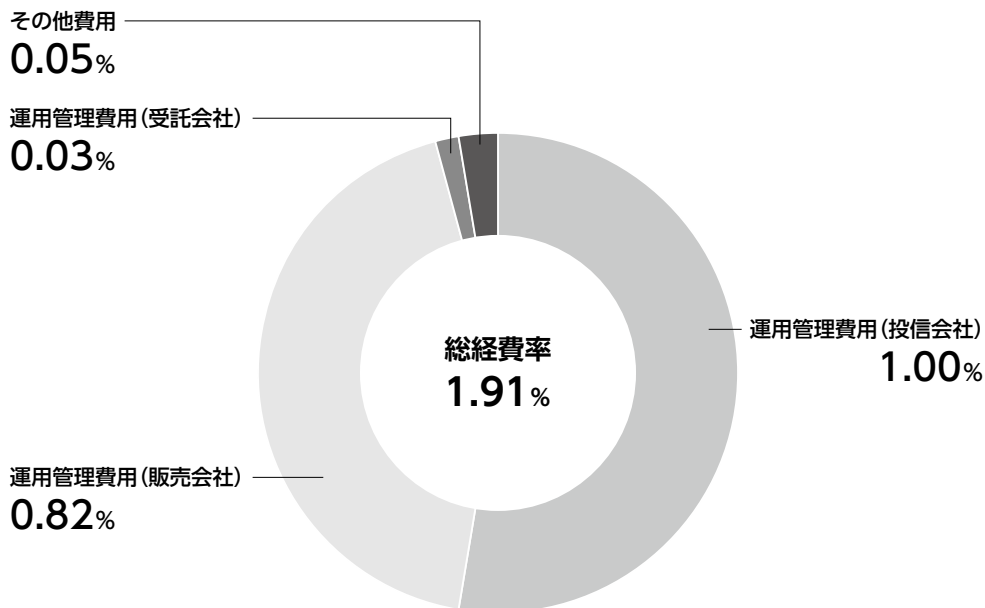
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.91%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2019年2月13日から2024年2月13日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2020年2月14日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2020.2.14 設定日	2021.2.10 決算日	2022.2.10 決算日	2023.2.10 決算日	2024.2.13 決算日
基準価額	(円)	10,000	11,262	12,441	12,574	13,327
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	300	250	250	200
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	15.6	12.7	3.0	7.6
純資産総額	(百万円)	5,073	14,317	12,859	22,314	15,959

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について（2023年8月11日から2024年2月13日まで）

期間におけるグローバル株式市場は上昇しました。為替市場では、米ドルをはじめ主要な通貨が対円で上昇しました。

グローバル株式市場

期間のグローバル株式市場は上昇しました。9月までは、中国の景気後退懸念や米国の金融引き締め長期化観測、原油価格の上昇を背景に長期金利（10年国債利回り）が上昇したことなどを受けて、軟調な展開となりました。10月には、イスラエルとパレスチナ自治区の紛争勃発により地政学リスクが懸念されたことや、米国における根強いインフレ圧力を背景に米国の金融引き締め長期化観測が意識され株式市場は下落しました。その後は、インフレ鈍化やF R B（米連邦準備制度理事会）の金融緩和政策への転換期待などから長期金利が低下に転じたことや、好調な企業業績を受けて世界株式市場は上昇しました。

業種別では、情報技術、コミュニケーション・サービス、金融がリターンの上位となった一方、公益事業、生活必需品、エネルギーはリターンの下位でした。

為替市場

米ドル、ユーロは対円で上昇しました。日本銀行が緩和的な金融政策を継続する姿勢を示す中で2023年11月中旬にかけて米ドルやユーロは円に対して上昇しました。その後、年末にかけては米国のインフレ鈍化が示され、またパウエルF R B議長が利下げを示唆する発言を行ったことに加えて、日銀総裁の発言からマイナス金利政策解除への思惑が高まり、円が反発しました。年明け後は、力強い経済指標が発表されるなど米国の利下げペースに対する思惑が後退する中で、再び円安傾向となりました。

ポートフォリオについて (2023年8月11日から2024年2月13日まで)

当ファンド

主要投資対象である「フード・イノベーション厳選株式マザーファンド」を、期間を通じて高位に組み入れました。

フード・イノベーション厳選株式マザーファンド

●国／地域別配分

地域別では、北米、欧州(含む英国)を中心に、アジア・パシフィック(含む日本)などに投資しました。国別では、米国、スイス、日本などを組入上位としました。

●業種配分

業種別では、フードテーマに関連性の高い生活必需品を中心に、ヘルスケア、資本財・サービスなどに投資しました。

●個別銘柄

個別銘柄では、コストコホールセール(米国／生活必需品)、ノボザイムズ(デンマーク／素材)、ネスレ(スイス／生活必需品)を組入上位としました。期間末時点において、49銘柄を保有しました。

●ポートフォリオの特性

食に関連する「プラットフォーム」、「新技術提供企業」、「新市場開拓企業」のサブテーマに着目し、企業の成長見通しや株価の割安度の分析なども踏まえた運用を行いました。

コストコホールセール

会員制倉庫型卸売・小売業者です。同社は売上の中で食料品が最大の比率を占め、食品市場で強力なポジションを占めます。他社と差別化された独自のビジネスモデルで堅調な事業拡大が米国内、海外の両面から期待できます。

プラットフォーム：世界有数の小売業者の1社で、その規模と確立されたエンドマーケットが強みです。同社の人的資本マネジメントの取り組みは業界最高水準にあります。

組入上位銘柄

ネスレ

強力なブランド力を誇り売上を伸ばしています。経営陣は最も成長が見込まれる分野に経営資源を振り向ける事業戦略を継続しています。世界有数のパッケージ食品・飲料メーカーとして、スタートアップ企業との提携やM&A(合併・買収)など革新に向けて取り組んでいます。

新市場開拓企業：次の3つの取り組みでイノベーションに挑戦しています。(1)主要ブランドを新たなトレンド(植物由来など)や成分、技術などを通じて再ブランディング、(2)新商品を新興企業やテクノロジー会社とのパートナーシップを通じて開発、(3)M&Aの強化。これらの取り組みにより、同社は新市場の発展と革新により恩恵を受けます。

ベンチマークとの差異について(2023年8月11日から2024年2月13日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2023年8月11日から2024年2月13日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第8期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	3,327

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「フード・イノベーション厳選株式マザーファンド」への投資を通じて、新興国、日本を含む世界の取引所に上場している株式(不動産投資信託(R E I T)を含みます。)に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

フード・イノベーション厳選株式マザーファンド

フード関連の市場は人口動態のトレンドにより構造的な需要増加が期待され、さら

に将来需要を満たすための供給制約の問題を克服するため、これまででない技術革新が求められています。これらは、フード関連分野の成長見通しを下支えすると見られます。引き続き、食に関連する3つのサブテーマ(「プラットフォーム」、「新技術提供企業」、「新市場開拓企業」)に着目した銘柄選択を進めていきます。地政学リスク、気候変動、人口増加などによる食糧供給問題に対して、解決策を導くための新しい研究や投資、革新性を有する企業に注目し、長期的に有用なテーマとファンダメンタルズ(基礎的条件)に基づいたポートフォリオ運用を継続していきます。

3 お知らせ

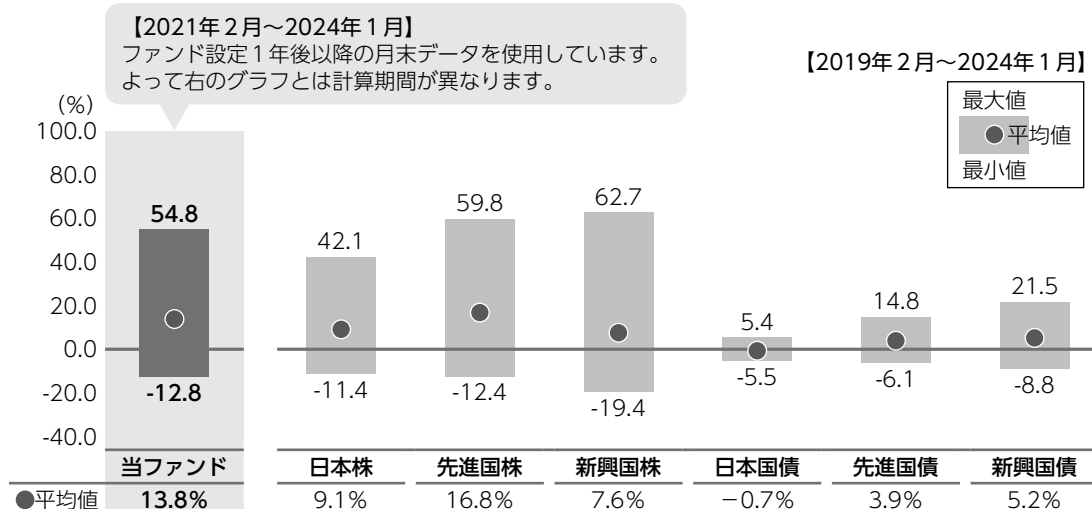
約款変更について

- デリバティブ取引の利用目的の明確化と信託期間を無期限とすることに伴う約款変更を行いました。(適用日：2023年11月8日)

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限(設定日：2020年2月14日)
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、新興国、日本を含む世界の取引所に上場している株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 フード・イノベーション厳選株式マザーファンド 日本を含む世界の株式
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ マザーファンドへの投資を通じて、新興国、日本を含む世界の取引所に上場している株式(不動産投資信託(R E I T)を含みます。)に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■ 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ■ マザーファンドの実質的な運用は、ニュートン・インベストメント・マネジメント・リミテッドが行いますが、その運用権限の一部をニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーに再委託します。
組入制限	当ファンド <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■ 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 フード・イノベーション厳選株式マザーファンド <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式への投資割合には、制限を設けません。 ■ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年2回(原則として毎年2月および8月の10日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■ 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

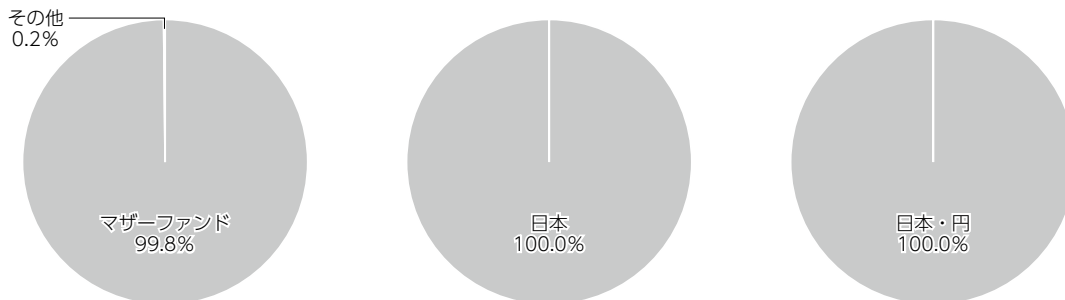
当ファンドの組入資産の内容(2024年2月13日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
フード・イノベーション厳選株式マザーファンド	99.8%
コールローン等、その他	0.2%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第8期末 2024年2月13日
純資産総額	(円)	15,959,137,830
受益権総口数	(口)	11,974,878,454
1万口当たり基準価額	(円)	13,327

※当期における、追加設定元本額は451,027,767円、解約元本額は3,965,293,693円です。

組入上位ファンドの概要

フード・イノベーション厳選株式マザーファンド(2023年2月11日から2024年2月13日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	内訳	金額	内訳
売買委託手数料	(株式) (投資信託証券)	3	(3) (0)
有価証券取引税	(株式) (投資信託証券)	3	(3) (0)
その他費用	(保管費用) (その他)	6	(6) (0)
合計		12	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

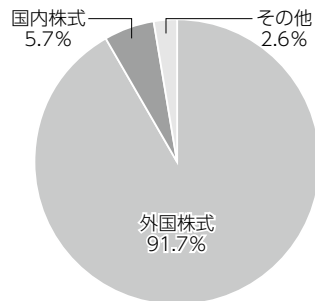
(基準日：2024年2月13日)

	銘柄名	業種	組入比率
1	COSTCO WHOLESALE CORP	生活必需品流通・小売り	5.2%
2	NOVOZYMES A/S-B SHARES	素材	4.3%
3	NESTLE SA-REG	食品・飲料・タバコ	4.1%
4	PEPSICO INC	食品・飲料・タバコ	3.9%
5	WALMART DE MEXICO SAB DE CV	生活必需品流通・小売り	3.4%
6	DANAHER CORP	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.1%
7	KERRY GROUP PLC-A	食品・飲料・タバコ	3.0%
8	ZOETIS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.9%
9	SPROUTS FARMERS MARKET INC	生活必需品流通・小売り	2.9%
10	ROPER TECHNOLOGIES INC	ソフトウェア・サービス	2.8%
	全銘柄数	49銘柄	

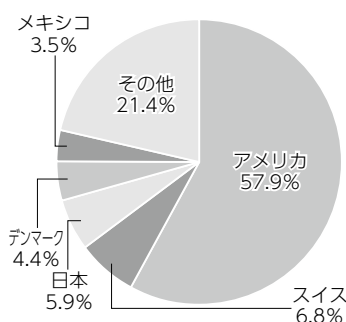
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

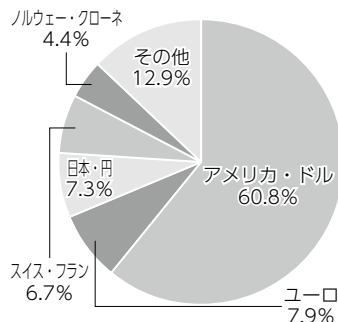
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2024年2月13日現在です。